

# JIS

プラスチック—アクリロニトリル—  
ブタジエンスチレン(ABS)  
成形用材料及び押出用材料—  
第2部：試験片の調製及び諸性質の測定方法

JIS K 6934-2 : 1999

(ISO 2580-2 : 1994)

平成11年1月20日 制定

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

## まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が制定した日本工業規格である。これによって **JIS K 6874** は廃止され、**JIS K 6934-2** (当該規格) と **JIS K 6934-1** に分割される。

今回の制定では、国際規格との整合を図るため、**ISO 2580-2 : 1994** を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。通商産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録出願にかかわる確認について、責任はもたない。

**JIS K 6934-2** には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) 連続相中の結合アクリロニトリル含量の測定

**JIS K 6934** は、次の部によって構成される。

プラスチック—アクリロニトリル—ブタジエン—スチレン (ABS) 成形用材料及び押出用材料

第1部：分類の体系と仕様作成のための基準

第2部：試験片の調製及び諸性質の測定方法

---

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：平成 11. 1. 20

官 報 公 示：平成 11. 1. 20

原案作成協力者：日本プラスチック工業連盟

審 議 部 会：日本工業標準調査会 化学部会 (部会長 三田 達)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課 (〒100-921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

プラスチック—アクリロニトリル K 6934-2 : 1999

—ブタジエン—スチレン (ABS) (ISO 2580-2 : 1994)

成形用材料及び押出用材料—

## 第2部：試験片の調製及び諸性質の測定方法

Plastics—Acrylonitrile/butadiene/styrene (ABS)

—moulding and extrusion materials—

## Part 2 : Preparation of test specimens and determination of properties

序文 この規格は、ISO 2580-2 : 1994, Plastics—Acrylonitrile butadiene styrene (ABS) moulding and extrusion materials—Part 2 : Preparation of test specimens and determination of propertiesを翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

なお、この規格で下線(点線)を施してある箇所は、原国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、成形用及び押出用ABS材料の試験片の調製及び諸性質の測定方法を規定する。ここでは、試験材料の取扱い方法と、成形前の試験材料及び試験前の試験片の状態調節についての要求事項を規定する。

試験片を調製するための手順及び条件、並びに成形された試験片の材料特性値を測定する手順を示す。射出用及び押出用ABS材料の特徴を定めるのに適切であり、必要である特性と試験方法を規定する。

これらの特性項目は、JIS K 7140の中の一般試験方法から選んだ。これらの射出用及び押出用材料に対して広範囲に使われている試験方法や特殊で重要な試験方法、すなわち、JIS K 6934-1で規定するビカット軟化温度、メルトマスフローレイト、衝撃強さ及び曲げ弾性率の試験方法をこの規格に含む。

再現性があり、かつ、比較可能な試験結果を得るためには、ここに規定された試験片の調製方法、状態調節方法、試験片寸法、及び試験手順を採用する。寸法の異なる試験片や異なった方法で得られた試験結果は、必ずしも一致するとは限らない。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。この規格の発行時点では、ここに示す版の規格が有効である。すべての規格は改正されることがあるので、この規格の使用者は、引用規格の最新版を適用できるかどうか検討するのが望ましい。

ISO 62 : 1980, Plastics—Determination of water absorption

ISO 75-1 : 1993, Plastics—Determination of temperature of deflection under load—Part 1 : General test method

備考 JIS K 7191-1 : 1996(プラスチック—荷重たわみ温度の試験方法—第1部：通則)がこの国際規格と一致している。

ISO 75-2 : 1993, Plastics—Determination of temperature of deflection under load—Part 2 : Plastics and ebonite

備考 JIS K 7191-2 : 1996(プラスチック—荷重たわみ温度の試験方法—第2部：プラスチック及びエボナイト)がこの国際規格に一致している。